

令和4年度 1学期 保護者による園評価結果報告

日頃より小須戸幼稚園の教育に温かいご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。1学期の保護者アンケートの結果がまとまりましたのでご報告いたします。

閉園年度となった令和4年度を最高の1年にしようという気持ちで教育活動に取り組んでまいりました。保護者の皆様からの記述を真摯に受け止め、2学期以降も多様な経験ができる教育環境、教育活動の工夫に取り組んで参ります。

評価については、各設問について皆様の記述内容を総合的に判断させていただきました。

(評価・・・ A：十分 B：おおむね十分 C：不十分)

1 教育活動について



<p>少人数を生かした教育活動の工夫について</p>		
<p>園は少人数であることを生かし、教育活動の工夫を図っていると思いますか。</p>	<p>年 長 組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数だからこそできる園外活動や他園との交流が多く、いろいろな経験をさせていただいていると思います。親子での活動も地域との交流や料理など子どもの成長を感じられるもので良かったです。 ○自分のしたいことを優先しつつ、友達の輪の中にうまく入れてくれる先生の言葉がすごく良いと思いました。 ○子ども一人一人の要望を聞き入れ取り組んでくださっていると思いました。 ○他園との交流の機会が多くていいと思います。とくに保育園のお友達との交流は小学校へ入学してからの友だち付き合いがスムーズにいくと思います。 ○「〇〇作り（よもぎだんご・ぽっぽ焼き・凧など）」普段なかなかできないいろいろな経験をさせてくれてありがたいです。 ○他園との交流を積極的にしていただいたので、いろいろなお子さんとのかわりが持てて良かったです。



所 見	評 価
<p>いよいよ最終年度となった令和4年度。在園児5名の多様な経験につながる教育活動について、日々職員間で話し合ってきました。取組の成果の一つとして、市立幼稚園や近隣保育園との定期的や日常的な交流を通して、どこに行っても物怖じすることなく、友達づくりや活動の参加ができるようになってきている姿があります。</p> <p>また、小中学校やまちづくりセンター等の地域の人たちと関わることにより、いつも地域のいろいろな人に見守られ、愛されているという安心と信頼の気持ちをもつことができます。</p> <p>これらの教育活動を継続することで子どもたちの多様で豊かな経験を保障し、育ちを支えていきます。</p>	A

園の取組の発信について		
<p>園だよりやクラス便りを通して、園での少人数を生かした取組やそれによる幼児の育ちを実感することができましたか。</p>	<p>年長組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○写真や吹き出しで子どもたちの話している内容がよく分かり、自分たちで考え行動する力がついてきていると感じます。 ○写真が多く、子どもたちの様子が細かく見れてうれしいです。 ○写真一枚一枚に一言添えられていることが、その時の状況が分かってうれしいです。 ○写真も大きく、枚数も多く載っているのを見やすいです。お友達と協力して作業している様子や楽しそうな表情、真剣な表情が見れてうれしいです。 ○年長になって、遊びながら物の貸し借りなどのルールが自然とできるようになって、すごいなあと成長を感じます。



所 見	評 価
<p>少人数になったことで、子どもたち一人一人の表情や活動の様子、その雰囲気までもがリアルにお伝えできるようになりました。</p> <p>さらに、今年度は便り発行の際に、便りに取り上げる場面で子どもたちはどんな経験をしていたのか、どんな心の動きがあったのか、先生は子どもの姿をどのように読み解き何を意図して援助や言葉かけをしたのかなどについて話し合い、子どもへの理解を深めてから発行することになっています。エピソード研修として職員研修の一つに位置づけています。</p> <p>今後も保護者のみなさんが「子育てって面白い、楽しい」と感じていただけるように、そして、「次の便りの発行が待ち遠しい」と思ってもらえるよう、より内容を充実させていきます。</p>	<p>A</p>

2 お子さんの様子について

主体的・対話的で深い学び（興味関心）について		
<p>年長組</p>	<p>進級当初に比べ、遊びや身の回りの様々なことに興味をもち、自分からやってみようとする姿が見られますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○以前はできないと作ってもらっただけだった折り紙を、自分からやったり、折り方を教えてくれるようになりました。 ○幼稚園で行ったこと（お店屋さんごっこや歌など）を家でも披露してくれています。 ○お手伝いをするようになってくれたのですが、前よりも今自分がどう動くべきかを考えて手伝ってくれるようになりました。 ○最近は汗拭きタオルやおしぼりなど毎日の持ち物の準備を「自分でやりたい!」と言って少しずつできるようになりました。 ○ザリガニの生態や飼育に興味をもち、自主的に本を借りて、飼育するためには何が必要か、オス、メスの違いなどを調べていました。



所 見	評 価
<p>今年度のそら組の子どもたちは、昨年度の年長児の姿を常に近くで見してきました。その記憶が、知識や意欲、興味関心の高まりになってるよう感じられます。そして、昨年の年長組のように「いろいろなことができる自分」に自信をもっています。</p> <p>身の回りのことが自分でできること、見通しをもって行動できること、相手の気持ちを感じ取って関わるができることなどのすべてが、自信と意欲につながり、自分の興味を追求しようとする姿につながっています。これからの成長が楽しみです。</p>	<p>A</p>

主体的・対話的で深い学び（思いの表現）について		
年 長 組	<p>進級当初に比べ、自分が考えたことを友達やお家の方に話したり、相手の話に耳を傾けて考えを返したりする様子が感じられますか。</p>	<p>○おしゃべりで一方的に話すことも多いですが、最近は「こうするといいんじゃない？」などアドバイスも聞き入れて実行するようになってきたと思います。</p> <p>○自分はこうじゃない！と、頑固になる部分が見えるようになってきました。大人になったんだなと成長を感じました。</p> <p>○地域のお店に行った時、あの時こんなことしたと、思い出話がよく聞けるようになりました。</p> <p>○コップに水を汲んでもらう、高くて届かない物を取ってもらうなど、人に何かしてもらったときに、すぐ「ありがとう」と言えるようになりました。</p> <p>○園で子ども同士の話し合いの場面では、進級当初に比べて、自分の思っていることを伝えられるようになってきているようで、成長を感じます。</p>

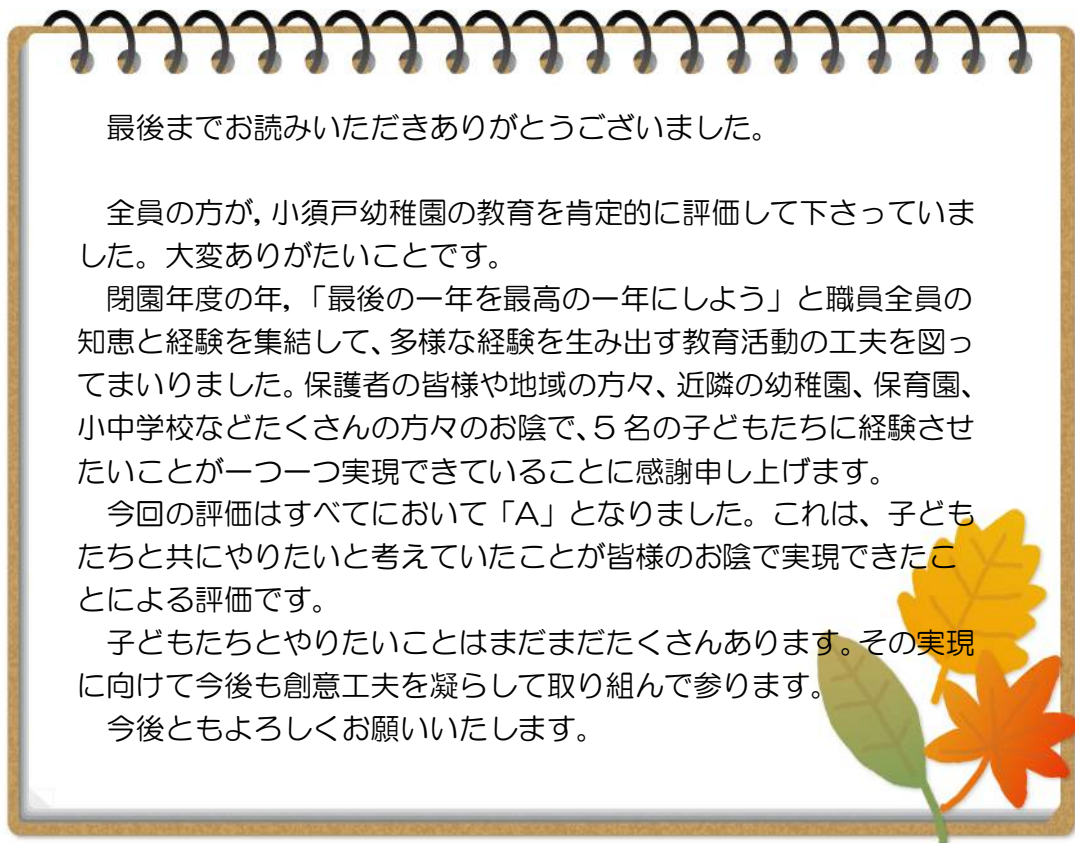


所 見	評 価
<p>主体的・対話的で深い学びの「思いの表現」の項目では、最終的に「感じたことや思ったことを相手に分かるように伝える」「相手の話に耳を傾け理解しようとする」といった言語表現や内面の発達を目標としています。</p> <p>年中組の頃は、周りの大人が言葉だけでなく子どもの表情や仕草、視線などから思いを汲み取ることが多かったのですが、今では、うれしいことはもちろん、嫌だったことも困ったこともしっかりと自分の言葉で表現することができています。また「どうしたの?」「〇〇ちゃんはどう思う?」など、言葉を介して相手の考えや気持ちを理解しようとする姿も見られます。</p> <p>さらに言葉でのコミュニケーションの力が育ってくると、知的な理解も進み、意欲や主体性にもつながってきます。そのような育ちがたくさん見られるよう、教育活動や環境構成の工夫を図っていきます。</p>	A

主体的・対話的で深い学び（気持ちの折り合い）について		
年 長 組	<p>進級当初に比べ、思い通りにいかないことがあった時に、気持ちを調整し、折り合いをつける様子が感じられますか。</p>	<p>○まだまだ「でも…だって…」は多く強引なところもありますが、家では下の子の事に関しては我慢することも多いので、納得のいかないような顔をしながらも、最後は納得し譲る様子や優しく声掛けをする様子も見られます。</p> <p>○姉妹で取り合いになった時も、「じゃあ次貸してあげるからね」と少し不満げでも、引くことを思えるようになったみたいです。</p> <p>○思ったようにいかない時すねるクセがあるのですが、一人になる時間を作ることで気持ちを落ち着かせるようになったみたいです。</p> <p>○家庭で姉とのけんかの場面では自分の思っていることを言葉で伝えられるようになりました。親がフォローせずとも、自然に気持ちが切り替わることも多くなりました。</p> <p>●最近思い通りにいかないことがあると大声で泣いたり、いじけて部屋を飛び出して他の部屋で体育座りをしながらしくしく泣いたりすることが多いです。</p>



所 見	評 価
<p>子どもたちの心には常に様々な感情が動いています。「でも・・・だって・・・」の時、納得がいけないけれどしぶしぶ譲る時、不満げでも一歩引いて相手の思いを受け入れる時、すねて泣く時など、どんな姿の時もきっと子どもたちは「どうすることが自分にとって相手にとっても楽しく遊びを続けていけるんだろう」と考えているのでしょう。どんな風に気持ちに折り合いをつけるのか、じっくりと子ども自身が答えを出すまで待つてあげたいものですね。（これがなかなか難しいのですが・・・）</p> <p>そんな時、周りの大人はどう対応したらいいのでしょうか・・・私は、その一つとして、最大の関心をもちつつ、あえて無関心でいることかなと思います。そして、自分で気持ちを切り替えた時、不満もいらだちも受け入れて前に進もうとしている姿を、ごく自然な振る舞いで受け止めてあげたいなと思います。「またいい笑顔になって良かった。先生（お母さんやお父さん）うれしいな。」という言葉添えて。</p>	A



最後までお読みいただきありがとうございました。

全員の方が、小須戸幼稚園の教育を肯定的に評価して下さいました。大変ありがたいことです。

閉園年度の年、「最後の一年を最高の一年にしよう」と職員全員の知恵と経験を集結して、多様な経験を生み出す教育活動の工夫を図ってまいりました。保護者の皆様や地域の方々、近隣の幼稚園、保育園、小中学校などたくさんの方々のお陰で、5名の子どもたちに経験させたいことが一つ一つ実現できていることに感謝申し上げます。

今回の評価はすべてにおいて「A」となりました。これは、子どもたちと共にやりたいと考えていたことが皆様のお陰で実現できたことによる評価です。

子どもたちとやりたいことはまだまだたくさんあります。その実現に向けて今後も創意工夫を凝らして取り組んで参ります。

今後ともよろしく願いいたします。